

J A全農杯2025 全国小学生選抜サッカー IN 関西

- 1 名 称：J A全農杯2025 全国小学生選抜サッカー IN 関西
- 2 主 催：日刊スポーツ新聞社・(一社)関西サッカー協会
- 3 後 援：(公財)日本サッカー協会
- 4 特別協賛：全国農業協同組合連合会(J A全農)
- 5 協 賛：奈良県農業協同組合・和歌山県農業協同組合連合会・(株)モルテン
- 6 主 管：(一社)関西サッカー協会第4種委員会
- 7 期日・会場：2025年3月1日(土)～2日(日) 和歌山県 上富田スポーツセンター
- 8 表 彰：優勝・準優勝・3位(2チーム)に表彰状、メダル、副賞を授与
- 9 参加資格
 - (1) 大会実施年度に第4種加盟登録した団体(チーム)であること
 - (2) 前記団体(チーム)に所属する選手で平成25年(2013)4月2日以降の出生者であり、(公財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
 - (3) 本大会の上位2チームについては、2025年5月3日～5日に日産スタジアム(横浜国際総合競技場)で開催される「チビリンピック2025 J A全農杯 全国小学生選抜サッカー決勝大会」に、6年生以下の登録選手で参加可能なチーム。
 - (4) **大会参加費 10000円 振り込み**
- 10 参加チーム数：12チーム(関西各府県の代表各2チーム)

11 チーム構成

- (1) チームの編成は、引率指導者2名以上3名、選手16名以上20名以内とする。
- (2) 関西各府県(予選)大会において、他チームにてエントリーされていた選手を移籍等(関西各府県内外を問わない)での協会追加登録によってエントリー登録はできないものとする。
- (3) エントリー締切は2月21日(金)とし、これ以降の変更は認めない。

12 条 件

- (1) 引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また内1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- (2) 参加選手は、健康であり且つ保護者の同意を得ていると共に傷害保険に加入していること。

13 選手登録：本大会事務局へ登録する。

14 試合成立：試合開始30分前または本部の指示に従い本部に集合し、エントリー登録書と選手証または

選手一覧表(以下、選手証)を提出し承諾された場合とする。※写真貼付デジタル選手証可
選手チェックは、1日目、2日目ともに第1試合の試合30分前までに1回のみ行なう。

エントリーできる選手が16名未満の場合や20歳以上の責任者(代表者・監督・コーチ)がいない場合は不戦敗とする。

選手証(写真貼付デジタル選手証)がエントリー時に、提示できなかった選手については
出場できない

選手証(写真貼付デジタル選手証)はエントリー登録書の順番に並べて提出すること。

エントリー登録書に記載している指導者の中で公認ライセンスを保有している者についても
顔写真入りのライセンス証をもって確認する

ライセンス非保有者であってもベンチ入りは可とする(2025年度まで)

(事務局承認印押印後のエントリー登録書を印刷して持参してください)※インジェット不可

15 組み合わせ：本大会事務局において決定する。

16 試合形式

- (1) 12チームを4グループに分け、3チーム1グループのリーグ戦を行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
- (2) グループ3位チームは、フレンドリーマッチを行う。
- (3) リーグ戦の順位決定
 - ① 勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
 - ② 勝点は、勝ち：3点 引分け：1点 負け：0点とする。
但し、勝点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。
 - ③ 不戦敗となった場合は、0-3で敗戦とする
- (4) 上位8チームによる決勝トーナメント戦を行う。但し、3位決定戦は行なわない。

17 競技規則

(公財)日本サッカー協会による「2024/2025 サッカー競技規則」に則して行うが、関西大会では3ピリオド制を重視し、次の(1)~(17)の規則に従い行う。

(1) プレー時間

- ① 12分×3ピリオドとする。(第3ピリオドのスタート時は第1ピリオドのエンドと同じで、中間点でエンドを替える)
- ② ピリオド間のインターバルは、第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオドの間は5分とする。

(3) 選手の交代

- ・競技者の数は、常に8人(うち1人はGK)とする
- ・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する
- ・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする
- ・交代要員を含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない

事故、ケガ等で出場が困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になった時に限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める(延長戦はピリオドの数に含まない)

① 第1ピリオド

- ・ 予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する
- ・ 試合中の事故、ケガで交代する場合は、交代要員が出場する
交代要員：提出した大会登録書(エントリー表)に出場印がついていない選手
- ・ 交代選手全員が事故、ケガ等で出場が困難となった場合に限り第2ピリオド出場予定の選手が出場できる
- ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない(=自由な交代ではない)

② 第2ピリオド

- ・ 予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する
- ・ 試合中の事故、ケガで交代する場合は、交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場はできる
- ・ 交代選手全員が事故、ケガ等で出場困難となった場合に限り第1ピリオド出場予定の選手が出場できる
- ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない(=自由な交代ではない)

③ 第3ピリオド

- ・ 第1・2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる
- ・ 何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる(=自由な交代)

※ 当日、登録選手に不都合がおき、試合に出場できない場合は、出場資格を有する日本協会登録選手であれば大会の出場を認める。

(4) 同点の場合における試合の勝者を決定する方法

- ① リーグ戦においては、引き分けとする。
- ② 決勝トーナメントにおいては、PK方式3名で行い、決しない場合は4人目以降同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、キックは続けられる。
- ③ 決勝のみ6分(前・後半3分ハーフタイムなし)の延長を行い、決しない場合はPK方式(3人ずつ)により勝者を決定する。(Vゴール方式ではない)

ア 延長戦に入る前のインターバル：5分

イ PK方式に入る前のインターバル：1分

(5) 交代

- ・ 交代は、交代ゾーンからフィールドの外にでる
- ・ 交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る

- ・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる
ただし、GKは主審の許可を得て試合中断時に交代すること。GKが交代で退く際は、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならない。
- ・交代で退く選手が、負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい

(5) 交代人数：大会登録書に記載されている登録選手内とする。

(6) サイドコーチ・異議

ベンチ入りする監督、コーチ、スタッフ、役員他が審判員の判定や指示に対して異議を唱える行為や選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により、退席処分としそれ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

(7) 警告・退場他

通常の競技規則に準ずる。但し、退場処分になった場合は、他の選手を補充し常に8人でプレーできるものとする。

- ① 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ② 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ グリーンカードを導入する。

(8) テクニカルエリア(ベンチ)

テクニカルエリアに入れる者はエントリー選手全員と指導者2名以上3名以内とする
その都度ただ1人の指導者のみがテクニカルエリア内から戦術的指示を伝えることができる
試合中の指導者、コーチによる撮影は禁止する

(9) 審判員：主審1人制とし、補助審判1名が付く(審判は協会が行う)。

(10) アディショナルタイム表示：実施しない。

(11) 飲水について：飲水タイムは本部の指示により決定

(12) 負傷した競技者：負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の人数は2名以内とする。

(13) 試合球：JFA公認4号球を大会運営本部で用意する。

(14) プレーの開始と再開：キックオフから直接相手のゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる。

(15) ユニフォーム

- ① 試合に際しては、登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。
- ② 審判が両チームのユニフォームの識別が困難と判断した場合は、両チーム・審判・本部にて話合うか、またはトス等にて決定する。
- ③ アンダーシャツ又はアンダーショーツおよびタイツの色は規定しない。ただし、チーム内で同色の物を着用すること。着用するかどうかは統一しなくてもよい。同一チーム内で複数のGKが着用する場合は同色とすること。
- ④ ソックステープ等の色は規定しない(GKの肘、膝ガード用サポーター含)
- ⑤ ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみ是を認める。しかし、エントリーの際に記載明記し、事前にチェックを受け承認されなければならない。
- ⑥ GKのショーツ、ソックスは、FPと同系色でもよい。GKのシャツの色彩は、他の競技者、審判員と明確に判別できるものでなければならない。ビブスによる対応は認めない。
- ⑦ 試合スタートのGKは、エントリー登録書に記載されたユニフォームを3点セットで着用する。
- ⑧ フィールドプレイヤー(FP)及びゴールキーパー(GK 2名以上)登録者は登録書に記載したユニフォームを着用のこと。また、FPがGKをする場合、選手固有の背番号のGKシャツ(登録しているシャツ)を着用しなければならない。但し、ショーツ・ソックスはフィールドプレイヤー登録で可とする。また、GK登録者がFPを行う場合はGK登録と同じ番号のFPユニフォームを着用しなければならない。

(16) ピッチサイズ

- ① 縦68m 横50mで通常のフィールドの半分のサイズを基本とする。
- ② ペナルティエリア
ゴールライン上ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m。
- ③ ゴールエリア
ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m。
- ④ センターサークル：半径7m。
- ⑤ ペナルティマーク：8m。
- ⑥ ペナルティアーク：半径7mの半円弧。

⑦ ゴール：ゴールの内径は、縦2.15m、横5mを基準とする。

ピッチサイズ・エリアサイズについては人工芝等、予めペイントしているコートを使用の場合は、基本と大きな差がなければ使用可とする（最終的には大会本部にて使用可否を決定する）。

(17) スローイン時に相手競技者は、スローインが行われる地点から2m以上ボールから離れる。

17 その他

不測の事態（悪天候や災害等）が起こった場合、大会役員が協議のうえ大会責任者（関西四種委員長）の判断のもとに対応する。

本書に記載の参加資格、チーム構成、条件及び競技規則等に違反した場合、あるいはチームとして違反と認められた場合、当該チーム（選手、指導者含む）、当該試合の処分については本大会役員が協議のうえ大会責任者（関西四種委員長）が決定する（必要に応じてJFAへ報告する）。

18 注意事項

①大会中の事故は応急処置の他は責任を負わない

②閉会式は全日程終了後実施する

③応援については、競技場の関係で本部よりエリア指定する場合がありますので
本部の指示に従い厳守すること

④試合場内での食事、喫煙は厳禁とする

尚、飲酒は試合場内外問わず絶対に止めてください

⑤大会中は選手のみならず、指導者や応援の方に至るまで暴力・差別的発言・誹謗中傷
すること無く、フェアプレー精神を忘れず行動することをチーム内で周知徹底すること

⑥大会運営等において不測の事態（悪天候・コロナウイルス蔓延・交通事情等）が生じた場合
その処置については、（一社）関西サッカー協会第4種委員会にて協議し大会本部が決定する

⑦チーム関係者（監督・コーチ・スタッフ）及び保護者がピッチ内で写真撮影、録画することは禁止する

⑧チームや保護者の判断で救急車を手配された場合は、大会本部への連絡をお願いします
また、必ず上富田スポーツセンターへ連絡をいれてください(TEL:0739-33-7888)